



交通安全を呼び掛けをする高校生たち

## 下妻二高男子ソフト部安全運転呼び掛ける 夏の交通事故防止県民運動街頭キャンペーン 7月20日

7月20日、午前7時30分から本宿交差点と宗道十字路の2カ所で、街頭キャンペーンが行われました。

この街頭キャンペーンは、7月20日～31日の12日間、夏の交通事故防止県民運動が実施されることに先立ち行われたもので、下妻警察署の協力のもと、市内交通団体などの関係者約80人と下妻二高男子ソフトボール部員35人が通勤するドライバーに啓発品を手渡ししながら、交通安全を呼び掛けました。

下妻二高3年生で主将を務める飯塚智展さんからは「いつも応援してくれる地域の皆さんに感謝をこめて交通安全の大切さを呼び掛けたい」との決意表明がありました。



ゆか絵を楽しむ子どもたち



飲み物や焼きそばなどを売る出店者たち

## 涼しいドームの下みんなの自由市場 第2回Waiwaiマーケット 7月8日

7月8日、まちづくり市民グループ「しもつま3高」は第2回WaiwaiマーケットをWaiwaiドームしもつまで開催。事前申し込みのあった飲食・野菜直売・物販など33店舗が出店され、来場者はかわいい小物を買ったり、テーブルで食事を楽しんだりしていました。

同会場では、ドームの床にカラフルなチョークで子どもたちが思い思いの絵を描く「ゆか絵」のイベントも開催され、完成後は水鉄砲などで水を流して床をきれいにながら、ドームの下で涼をとっていました。

今回は9月15日(土)開催予定です。

7月7日、Waiwaiドームしもつまで、下妻e-sports実行委員会(内山学委員長)は今年2回目のコンピュータゲームを競技として行うe-sports大会を開催。県内外から24人が参加し、優勝商品の紫峰牛・牛タンをかけて大画面の仮想空間で競い合いました。

予選リーグ戦後、ダブルエリミネーション方式の決勝トーナメントを無敗で優勝した龍ヶ崎市のシャバモンさん(男性27歳)は「大会をツイッターで知り、参加を決めた。対戦ごとに対策がとれ優勝できた。早く牛タンを食べたい」と優勝の喜びを話しました。

## 格闘ゲームに県外からも参戦 第2回下妻e-sports大会 7月7日



内山さん(左)から牛タンをもらうシャバモンさん(右)



ブレンドン先生の聞き入る参加者たち

今年で2年目となる大人のための英会話教室「イングリッシュカフェ」(英会話初級者対象)が、千代川公民館で開催され、12人が参加しました。参加者同士で積極的に英会話を行ったり、英単語のスペルや表現方法などを講師のブレンドン先生に質問したりするなど、和やかな雰囲気の中でくつろぎながら学んでいました。

参加した40代女性は「洋画を字幕なしで見たいと思い参加しました。独学で続けることが大変なので、この機会に身に付けたい」と話してくれました。

## くつろぎながら英会話 イングリッシュカフェ 7月27日

## ほっとしポ・ライン Hot Repo Line 市民の声

空き家対策と古民家の活用を目的に『木造空き家簡易鑑定士』の講習会を5月に開催した茨城県つくば古民家再生協会支部長の吉川栄さん(長塚)からのお便りを紹介します。

市内で空き家が目立つようになり、その対策として私は古民家再生のノウハウを活用できないかと考えています。

古民家は太い柱(大黒柱など)や丸太の大梁などの骨太の構造を持ち、今後も100年以上使用できる材料でできています。そのため、当協会は古民家鑑定を通し、一般的な資産評価では価値がないとされる古民家を正當に評価し、保存活用することで地域に貢献することを目的として活動しています。また、古民家の改修には伝統工法に精通した『伝統再築士』という専門の資格者が設計し改修を実施して、安心してご相談いただける体制づくりもしています。

今年5月には60歳以上のシルバー人材による『木造空き家簡易鑑定士』の講習試験を開催し、24人の方が

## 「今、古民家が見直されています」

合格され認定されました。資格者の皆さまには空き家の建物が再活用可能か、解体せざるを得ないか、また建物が古民家なのかも判定していただきます。地域活性化のためには「今ある資産=古民家」を地元の人の方が調査することで住民主体での活用の機運が高まると考えております。



木造空き家簡易鑑定士講習試験に参加した皆さん

有料広告欄

有料広告欄